

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
保土ケ谷	1	生活保護受給者に対する家計相談支援事業	生活保護受給者に対する家計相談支援事業の局事業化	健康福祉局	○
保土ケ谷	2	相模鉄道本線(星川～天王町駅)全線高架化を契機としたにぎわいあるまちづくりの推進について	地域ニーズや駅前広場の整備計画をふまえた、バス路線の新設又は既存路線の延伸等の検討に向けたアンケート等調査	道路局	○
保土ケ谷	3	地域防災拠点への職員動員計画の見直し及び地域防災協力員制度の創設について	1 31年度の職員動員計画の策定に向けた基本方針等の見直し 2 地域防災協力員制度の創設に向けた要綱等の策定	総務局	-
保土ケ谷	4	保土ケ谷区総合庁舎の浸水対策と消防局移転後の跡床利活用計画検討について	消防局の移転に合わせた、本館地下1階にある機械室や非常用自家発電機の上階移設に関する調査・検討	市民局	○
保土ケ谷	5	坂本小学校通学路の安全対策のための待避スペースの整備について	坂本小学校通学路における、横断歩道周辺の水道局所管用地を活用した待避スペースの整備	水道局	-
保土ケ谷	6	現上菅田小学校の学校施設の建替え期間における遠距離通学支援について	上菅田小学校・笹山小学校統合及び建替えに伴う遠距離通学支援策として、スクールバスの試験運行や検討調査の実施	教育委員会事務局	○
保土ケ谷	7	バリアフリー基本構想を住民が提案する際のコーディネーターの派遣、支援について	住民主体のバリアフリー基本構想作成の際、検討および資料作成への助言・指導などを行うコーディネーターの派遣・支援	道路局	-
保土ケ谷	7	バリアフリー基本構想を住民が提案する際のコーディネーターの派遣、支援について		都市整備局	-
保土ケ谷	8	ほどがや地区センター体育室の設備改善について	体育室の天井改修工事と並行して、体育室の音響機器及び女子トイレの改修	市民局	-
保土ケ谷	9	母子保健支援機能の強化(子育て世代包括支援センター)と虐待対応調整機能の強化(虐待対応調整チーム)による切れ目の無い子育て支援の推進について	1 虐待対応について、通告対応から継続支援にむけた調整まで、迅速かつ確に行えるような機能強化 2 母子保健について、妊娠期から出産後にかけての相談機能強化	こども青少年局	○
保土ケ谷	10	権太坂境木地区バス路線新設に伴う舗装改修について	バスの路線化に伴う生活道路の計画的な補修の実施	道路局	○
保土ケ谷	11	地域防災拠点まで起伏が多く距離がある地域における通信手段の確保について	通信手段の確立のため、市立ろう特別支援学校に常設のデジタル移動無線機の設置	総務局	-
保土ケ谷	12	既存システムを活用した防災用屋外スピーカーの設置について	星川駅、和田町駅周辺に河川の水位及び雨量を知らせるため、防災用屋外スピーカーの設置	総務局	-
保土ケ谷	13	市民病院跡地を利用した地域住民など市民が集える場の整備について	市民病院跡地の整備計画検討にあたり、レストハウスや集会所といった地域住民などが集える場を設けることを含めた検討	医療局病院経営本部	○
保土ケ谷	14	区民文化センターの整備について	保土ケ谷区内に区民文化センターを整備するための検討	文化観光局	-
保土ケ谷	15	保土ケ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について	1 保土ケ谷駅東口まちづくりの推進 2 県税事務所跡地の有効利用 3 保土ケ谷区バリアフリー基本構想を踏まえた保土ケ谷駅東口駅前広場の改良、エレベーター設置	都市整備局	○
保土ケ谷	15	保土ケ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について		道路局	○
保土ケ谷	15	保土ケ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について		健康福祉局	○
保土ケ谷	16	保土ケ谷宿を未来につなげるまちづくり事業	「旧東海道『保土ケ谷宿』を未来へつなげるまち・みち再生計画」に基づく施設整備	道路局	○

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
保土ケ谷	17	神奈川東部方面線の整備に伴う西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進について	1 駅へのアクセス性と安全性の改善と、商店街活性化に向けた検討 2 駅周辺の歩行者動線のバリアフリー化、駅前広場やバスターミナル等の整備、国道16号の拡幅等の検討 3 生活利便施設等の併設整備の検討	都市整備局	○
保土ケ谷	17	神奈川東部方面線の整備に伴う西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進について		道路局	-
保土ケ谷	18	今井川の河川改修と保土ケ谷橋の架替えの一体的な事業推進について	1 今井川の河川改修及び保土ケ谷橋の架替えの連携した実施 2 拡幅整備に伴い、歴史性を考慮した沿道修景の実施 3 所有者意向を踏まえた建物の補修や曳家等の保全措置	道路局	○
保土ケ谷	19	桜ヶ丘コミュニティハウスの駐車場整備について	施設隣接の市営住宅駐車場を活用し、コミュニティハウスの駐車場の整備や貸与についての検討	建築局	-
保土ケ谷	19	桜ヶ丘コミュニティハウスの駐車場整備について		市民局	-
保土ケ谷	20	地区センター体育室への空調設備導入について	安心・安全な利用環境を整備するため、各地区センターの体育室に空調設備を設置	市民局	○
保土ケ谷	21	保土ケ谷三丁目とまち広場への健康器具の設置について	公園として環境創造局に移管した後、健康器具(「ぶら下がり」「背伸ばしベンチ」「腹筋ベンチ」「腰ひねり」の4種)の整備	環境創造局	-

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	健康福祉局
------	-------

保土ヶ谷区		生活支援課	
担当者名	西田	TEL	334-6310
共通区	鶴見区・神奈川区・西区・中区・南区・港南区・旭区・磯子区・港北区・緑区・都筑区・戸塚区・栄区		

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目
1	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="" type="checkbox"/>
地域ニーズと解決策		<p>生活保護受給者に対する家計相談支援事業</p> <p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>近年、生活保護受給者の抱える問題は複雑化し、担当職員個人の努力や経験による取組だけでは十分な支援が行えない状況となっています。横浜市では、これまで就労支援を始め、学習支援や年金相談支援などの自立支援プログラムを実施しています。</p> <p>また、生活保護受給者の中には、家計収支の状況把握や、中長期的な生活設計を踏まえた日々の生活の組立を困難だと感じている方が多く存在しています。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 ■ 8 その他（日常的に生活支援を実施しているケースワーカーからの情報、学校からの情報）</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>1 生活保護費に見合った生活レベルにしたい 2 こどもの教育資金を貯めたい 3 家賃や光熱水費の滞納を解消したい 4 借金を片付けたい 5 保護廃止後の家計収支が知りたい</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>【自主企画事業】 平成29年度より生活保護受給世帯の家計相談支援事業を実施しました。 実施世帯数は、28世帯。そのうち効果が認めれた世帯は21世帯（75%）でした。 《目標達成例》 1 家計の問題点が明確になり、収支の立て直しができた 2 多額の過払い金があることが判明し保護脱却した 3 家計を見直し、こどもの教育資金を貯め始めることができた 4 保護廃止後の家計不安がなくなった</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>今般、国からも、生活保護受給者に対し家計相談支援事業を積極的に推進するよう通知がありました。また、当区で独自に実施した家計相談支援事業の結果を踏まえると、全市で実施した場合、より多くの自立効果が期待でき、事業の有効性は非常に大きなものとなります。</p> <p>特に「母子世帯」「その他世帯」については、経済自立に向けた有効な支援になります。</p>
提案内容・概算額等	生活保護受給者に対する家計相談支援事業を健康福祉局事業により実施する。 委託費（1区当たり）：1,200千円 ※区配予算ではなく、生活困窮者自立支援事業の対象を拡大し、同一事業として実施する。	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	生活困窮者支援制度家計相談支援事業	
所管局課・担当者	健康福祉局生活支援課大内係長・吉浦	

◆局回答内容

健康福祉局		生活支援課	
担当者名	大内・吉澤	TEL	671-2429

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	保護廃止が見込まれる世帯やこどものいる世帯への家計相談支援事業については、将来へ向けての自立支援の観点から、意義や効果があると認識しているため、局で予算を計上します。 その他の対象者については、自主企画事業の効果を踏まえ、すでに生活困窮者を対象に実施している事業との連携等を含め、具体的にどのような事業スキームを構築していくとよいか、次年度の実施結果等を含めて検討を進めていきます。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局
------	-----

保土ヶ谷区		総務課	
担当人名	安室	TEL	334-6205
共通区			

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目
4	<input checked="" type="checkbox"/> 予算関連 <input type="checkbox"/> 制度関連	保土ヶ谷区総合庁舎の浸水対策と消防局移転後の跡床利活用計画検討について ◇地域の課題、基礎データ等 1 保土ヶ谷区総合庁舎の浸水想定 保土ヶ谷区総合庁舎周辺は、1時間に76.5mmの降雨があった場合(30年に1回降ると想定される降雨)、1.0~2.0mの浸水が想定されています。保土ヶ谷区総合庁舎は本館地下1階に機械室や非常用自家発電機があり、既設の止水板(約0.5m)を越流し本館地下1階が浸水した場合、電気供給が停止するなど、災害対策本部機能の維持に著しい影響が生じると考えられます。 そのため、消防局移転後の跡床の利活用にあたっては、浸水対策の1つとして、機械室等の2階以上への移設(新設)も含めて検討を行うことが必要です。 2 消防本部庁舎整備との関連性 保土ヶ谷区総合庁舎は現在、本館地下1階~3階(4階の一部含む)を区役所、4階~7階を消防局が使用しています。今後、消防本部庁舎整備により消防局が移転した後の跡床(約4,500㎡)は、区役所の分散化や狭あい化の解消、窓口・待合スペースの改善を図るため、区役所で利活用することで調整を進めています。 来庁者の利便性向上や職員の執務環境向上のため、移転後速やかに利活用を開始することが望ましく、機械室等の位置を含めたレイアウト変更案等の具体的な計画については、消防本部庁舎整備と並行して検討していく必要があります。
	地域のニーズと解決策	◇地域ニーズ等の収集手段 <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 本館・別館・分室に分散しており分かりにくい、窓口・待合スペースが狭い等のご意見を度々いただいています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 浸水対策としては、地下への浸水を防ぐため、地下駐車場の出入口に止水板(約0.5m)が設置されています。また、現状の限られたスペースにおいても、利用しやすい区役所となるよう、案内サインの更新やレイアウト変更等を順次検討・実施しています。 なお、消防本部庁舎整備の進捗状況については随時、消防局や市民局等と情報共有をしています。
		◇課題解決のための方策 平成31年度に、機械室等の2階以上への移設(新設)の可否について、調査・検討を行います。 この調査は、以下の理由により平成31年度に実施することが必要です。 ①浸水対策は喫緊の課題であり、調査の結果、現状のレイアウトで移設(新設)場所が確保できる場合は、平成32~33年度にかけて速やかに設計・工事ができること ②機械室等の移設(新設)の可否は、跡床利活用計画を検討するにあたり必要となりますが、今後のスケジュールを踏まえると、平成32年度から跡床利活用計画検討を始めなければならないこと なお、設計・工事の時期は、以下2つの案が想定されます。 【案1】 平成32~33年度：現状のレイアウトのまま、移設(新設)場所が確保できる場合 【案2】 平成35~36年度：跡床利活用に向けた改修工事にあわせて、移設(新設)する場合 【今後のスケジュール(想定)】 平成30年度 消防本部庁舎整備に関する基本設計・実施設計(消防局発注) 平成31年度 機械室等の2階以上への移設(新設)の可否について検討・調査 平成32~33年度 跡床利活用に関する庁内検討・方針決定 平成34年度 跡床利活用に関する基本設計 平成35年度 跡床利活用に関する実施設計、消防本部庁舎しゅん工・消防局全部移転 平成36年度 跡床利活用に向けた区役所改修工事
	提案内容・概算額等	・機械室等の上階移設に関する調査・検討費 ■■■■■ 円 【31年度】 《調査・検討内容》 ・地下1階の機械室に設置されている機器および非常用自家発電機等を2階以上に移設(新設)することの可否 ・移設(新設)する場合の工法・費用等 ・移設(新設)の設計・工事費【32年度以降】 ・消防本部庁舎整備スケジュール等を踏まえて、関係部署による跡床利活用計画検討を継続的に実施すること【32年度以降】
	参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応
	所管局課・担当者	市民局地域施設課 中村係長、鈴木

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当人名	中村、鈴木	TEL	671-2086

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 平成35年度に区庁舎4~7階から消防本部が移転した後の床の利用のレイアウトについて、32年度に検討を始める必要があることから、地下にある機械室等の上階移設に関する調査・検討費を計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	水道局
------	-----

保土ヶ谷区		区政推進課 地域振興課 土木事務所	
担当者名	廣澤、関、中嶋	TEL	334-6374
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
5	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	坂本小学校通学路の安全対策のための待避スペースの整備について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等
		<ul style="list-style-type: none"> 坂本小学校からふれあいせせらぎの道を通り仏向配水池への道は、道路認定されている区間のほか、水道局が所有している区間があります。 ふれあいせせらぎの道の歩道が途切れた先に、交差点と横断歩道があり、道とその周辺の土地は水道局が所有しています。 道路とその周辺の土地に1メートル程度の高低差があることから、水道局の施工による落下防止のためのフェンスがあります。また、横断歩道前には一時滞留するスペースがなく、地域のボランティアの誘導のもと児童は滞留することなく速やかに通行する必要があります。 昨年度は、地域の要望を受け、安全対策のため、水道局にて交差点のベンガラ舗装を実施しました。
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望
		<ul style="list-style-type: none"> 地域のつどいにおいて、子供たちの安全の確保のため、横断歩道前の待避スペース（幅4m、長さ18m）の整備が要望されています。 スクールゾーン対策協議会では、交差点周辺にスクールゾーンの路面表示の要望があります。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		<ul style="list-style-type: none"> 交差点の安全対策のため、ベンガラ舗装の実施に向けて水道局と調整しました。
		◇課題解決のための方策
		<ul style="list-style-type: none"> 現況道路の形態となっている場所は筆界未定で公道となっておらず、横断歩道周辺の水道局所管用地を活用し、横断歩道前の待避スペースの整備に向けた検討
提案内容 ・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> 待避スペース計画のための設計費 ■■■■■ 千円 待避スペース造成整備費 ■■■■■ 千円 	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	水道局中村水道事務所 高橋係長	

◆局回答内容

水道局		中村水道事務所	
担当者名	高橋 潤	TEL	252-9001

対応の有無	対応しない	その他
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	横断歩道前の退避スペースについては、当該用地が水道局所管であるため土地の使用承認について協力します。整備工事は、水道事業として実施することが困難な道路の拡幅工事となるため、道路局等関係区局で協議願います。 なお、スクールゾーンの路面標示については、公道移管がされていないことから安全面に配慮し、今年度を実施しました。	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	教育委員会事務局
------	----------

保土ヶ谷区		区政推進課	
担当者名	足立	TEL	334-6228
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
6	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
現上菅田小学校の学校施設の建替え期間における遠距離通学支援について		
<p>地域のニーズと解決策</p> <p>◇地域の課題、基礎データ等 保土ヶ谷区の上菅田小学校、笹山小学校は学校統合を実施し、上菅田笹の丘小学校として平成32年4月に開校することが決定しています。 上菅田笹の丘小学校は、現上菅田小学校校舎を使用校舎とすることが決定していますが、現上菅田小学校校舎の建替え工事の期間である平成32年度から平成34年度（予定）については、現笹山小学校校舎を使用校舎とすることが決定しています。 現上菅田小学校の通学区域の一部区域において、現笹山小学校までの通学距離が、本市で望ましい通学距離としている片道おおむね2kmを超えてしまうため、対象区域の児童の負担を軽減することを目的とし、時限的（建替え工事の期間中）な遠距離通学支援が求められています。</p> <p>※ 現上菅田小学校の建替えにあたり、居ながら工事ではなく、笹山小学校を使用することで、グラウンド等の必要面積の確保や、建替えにかかる工期の短縮を図ることができ、良好な教育環境を維持しながら、大幅なコストダウンを図ることができます。しかし、笹山小学校を使用する場合、一部地域からの通学距離が、望ましい通学距離を超過するとともに、建替えに関する地域検討会において、建替え工事の期間中、笹山小学校を使用する条件として、スクールバス運行などを強く求められており、通学支援策を検討する必要があります。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（保護者説明会で聴取した保護者からの意見等）</p> <p>◇区民からの具体的な要望 ・平成32～34年度の遠距離通学支援の実施</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 上菅田小学校・笹山小学校統合及び建替えに伴う通学支援の検討状況について情報把握に努め、必要に応じて市民に周知しています。</p> <p>◇課題解決のための方策 ・必要な遠距離通学支援の実施に向けた検討・調査を行います。</p>		
提案内容・概算額等	平成32～34年度の遠距離通学支援策として、スクールバスの導入に向け、試験運行を行う。 概算額：■■■■円（積算根拠：バス1日貸切■■■■円×3台×20日）	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	教育委員会事務局学校計画課 牧野係長	

◆局回答内容

教育委員会事務局		学校計画課	
担当者名	山本	TEL	671-3252

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 現笹山小学校の校舎までの通学距離が、横浜市で望ましい通学距離としている片道おおむね2kmを超える児童について、建替え工事期間中の遠距離通学支援策について検討していきます。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局、都市整備局
------	-----------

保土ヶ谷区		区政推進課	
担当者名	廣澤・土方	TEL	334-6227
共通区	神奈川区、金沢区		

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
7	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	バリアフリー基本構想を住民が提案する際のコーディネーターの派遣、支援について
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等
		<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法)では、住民等の計画段階からの参加の促進を図るための措置として、住民等からの基本構想の作成提案制度が創設されました。 ・住民等が主体となり検討を進めるためには、基本構想の提案をまとめるためのコーディネート力や提案要件に沿った資料の作成が求められます。 ・区を含む横浜市は、住民から基本構想の提案を受けた後、提案要件の審査や提案の採否について決定しています。そのため、検討段階においては、住民等の主体的な検討を尊重する必要があります。 ・本市では地域まちづくりの支援制度としてまちづくりコーディネーターの派遣制度がありますが、登録分野はルール・プランづくり等や市街地開発事業などであり、住民提案のバリアフリーは登録分野に含まれていません。
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望
		<ul style="list-style-type: none"> ・常盤台地域ケアプラザで開催しているワークショップにおいて、(仮称)羽沢駅の開設に伴い、今年度、まちあるきなどを開催し、住民提案によるバリアフリー基本構想を作成する予定です。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		<ul style="list-style-type: none"> ・道路局企画課がバリアフリー基本構想に関する出前塾を実施しました。
		◇課題解決のための方策
		<ul style="list-style-type: none"> ・住民等からの基本構想の作成提案という趣旨から、住民等の主体的な検討を尊重することを前提に、まちあるき等で出された意見について、適切な助言をしつつ意見集約し、住民主体の検討および資料作成への助言・指導などを行う、バリアフリー分野に精通したまちづくりコーディネーターの派遣、支援
提案内容・概算額等	・住民主体のバリアフリー基本構想提案の検討に関するコーディネーター派遣、支援	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	道路局 横浜市バリアフリー基本構想策定事業 ほか	
所管局課・担当者	道路局企画課 石井係長 都市整備局地域まちづくり課 市川係長	

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	石井、今井	TEL	671-4086

対応の有無	対応しない	その他
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	住民提案制度は、住民等の主体的な検討を尊重するものであるため、必要に応じて、過年度の基本構想策定による知見等を区役所や派遣されたコーディネーターに提供するなど、検討のサポートを行います。	
	◇対応する場合の課題	

◆局回答内容

都市整備局		地域まちづくり課	
担当者名	市川・岩崎	TEL	671-2932

対応の有無	対応しない	制度化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	コーディネーターの派遣については、既存のまちづくり推進条例に基づく支援制度の中で、対応してまいります。	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局
------	-----

保土ヶ谷区		地域振興課	
担当者名	樺嶋、田村	TEL	334-6305
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
8	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	ほ도가や地区センター体育室の設備改善について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>ほ도가や地区センター(昭和56年築)は、スポーツ利用のほか、賀詞交換会、保育園の運動会やクリスマス会まで、一年中多くの区民が行事利用しています。また、区が水害発生時の避難所として指定しています。</p> <p>区内4地区センターの中でも、区中心部にある天王町エリアに存在し、日常的に利用しやすいことから、区民にとって重要な公共施設として位置付けられています。そのような性質により、優先的に整備が必要と考えます。</p> <p>体育室の音響機器は、経年劣化による音質悪化で、スピーカーから発せられる声が聞き取りづらいとの苦情が多発しています。災害時利用では、伝達内容がしっかりと伝わらない可能性もあります。</p> <p>また、体育室前の女子トイレは3基中2基が和式のため、洋式化の要望が多数寄せられています。さらに、体育室の床は劣化が進み、表面剥離等による利用者負傷も危惧されています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育室の音響機器が古く、スピーカーの音がこもり、何を話しているの分からない。 ・行事利用の際、マイクを通した話し声が聞き手に伝わらない。音響機器を更新して欲しい。 ・高齢者や子供は、和式トイレでは使いづらい。洋式トイレにしてほしい。 	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模イベントの際、業者からスピーカーをレンタルする必要があるが、毎回高額な費用がかかる。 ・一般利用者が、スピーカーを業者からレンタルするのは費用面で困難である。 ・体育室前の男子トイレは、平成29年度に便器1基を洋式化した。女子トイレは未着手。 	
	◇課題解決のための方策	
	<p>体育室の天井改修工事を行う際、並行して体育室周辺の設備を更新します。</p> <p>平成31年度、ほ도가や地区センターは天井改修工事及び空調設置工事のため、数か月間の休館が予定されています。天井改修等と同時期に体育室周辺の設備更新工事を施工することで、あらためての一時休館が不用となり、利用者に御不便を掛けずに済みます。</p>	
提案内容 概算額等	体育室の音響機器及び女子トイレの改修を行います。 ・音響機器更新費用： 〇〇〇 千円 ・女子トイレ改修費用： 〇〇〇 千円 ・体育室床全面張替え： 〇〇〇 千円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	市民局地域施設課 土田係長、安見	

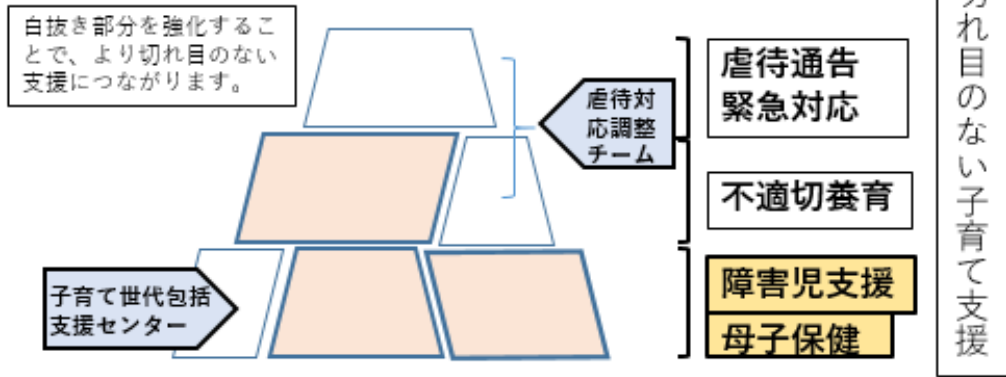
◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	安見	TEL	671-2328

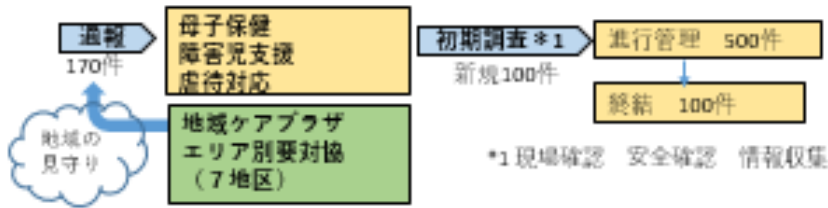
対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 地区センター体育室では、熱中症対策等のため空調設置や、天井脱落対策のための特定天井脱落対策を緊急課題ととらえ、優先的に進めております。 音響機器の更新につきましては、予算措置は困難と考えます。 また、トイレの洋式化に対する要望は認識していますが、予算措置は困難と考えます。	
	◇対応する場合の課題	
	今後、関係区局と連携しながら、地区センター体育室における床板の改修計画の策定について検討していきます。	

資料

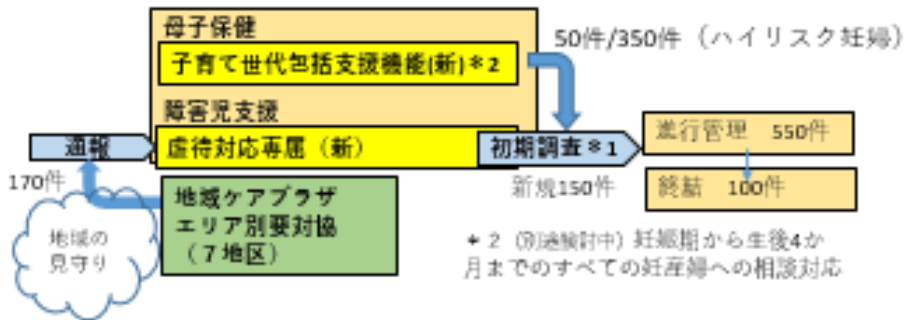
<こども家庭支援課専門職ラインイメージ図>



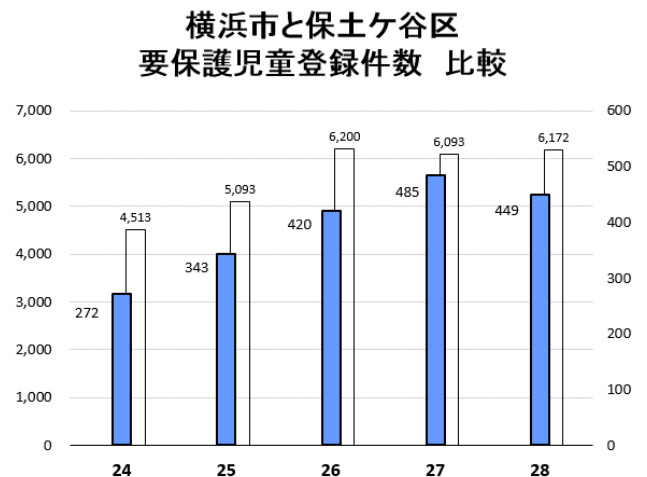
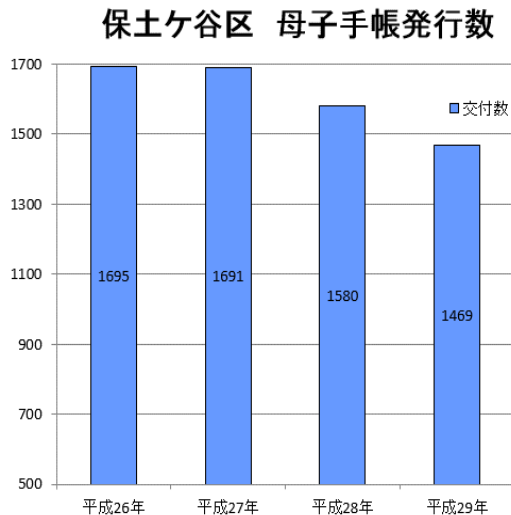
<こども家庭支援課 虐待対応の現状>



<機能強化後> 虐待の芽を摘む効果



<母子手帳発行数と要保護児童登録数>



平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

保土ヶ谷区		土木事務所	
担当者名	中嶋	TEL	331-4445
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
10	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	権太坂境木地区バス路線新設に伴う舗装改修について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	保土ヶ谷区権太坂境木地区においては、平成29年10月より1年間バスの実証運行を行った。バスの運行ルートの大半は住宅街で、現在の道路は路線バスの走行を想定した舗装ではない。平成30年10月より本格運行に移行しており、舗装の損傷対策と修繕計画が必要となる。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（陳情等）	
	◇区民からの具体的な要望	
	地域交通手段の充実。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
社会基盤の安全安心の確保。実証実験前に、舗装の状態を点検・記録した。		
◇課題解決のための方策		
新規路線全線の舗装改修を、計画的に実施。		
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装のアップグレード（ 円） ・地域交通サポート事業費などからの修繕費用の補填 	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	地域交通サポート事業費	
所管局課・担当者	道路局企画課 寺島係長	

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	寺島、郷原	TEL	671-3800

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	路線バスの運行に当たっての課題については、道路係長会（7/19）でも議論を行いました。舗装の状況を見ながら、地域交通サポート事業で対応します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	総務局
------	-----

保土ヶ谷区		総務課	
担当者名	三瓶	TEL	334-6226
共通区			

継続年数	4年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
12	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	既存システムを活用した防災用屋外スピーカーの設置について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 帷子川では、過去に多くの水害が発生し、多数の被害が発生しています。天王町駅周辺には河川水位警報システムが設置されていますが、見直された帷子川の「想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域の指定」によると、星川駅 2.0m、和田町駅 1.9mの浸水深が示されており、共に甚大な浸水被害が想定される区域です。さらに、区災害対策本部となる保土ヶ谷区総合庁舎は2.7mの浸水深が示されており、水害の状況によっては避難勧告等の住民広報に支障をきたすことも危惧され、河川の水位や雨量により自動的に住民に避難を促す体制の構築が緊急的に必要な地域です。
		◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 天王町駅周辺にある河川水位警報システムと同様に、河川の水位増水時にサイレンで近隣住民へ注意を促すシステムの設置を要望しています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 帷子川の洪水対策としては、天王町駅周辺に設置してある河川水位警報システムについて、26年度の補正予算で更新を行っています。
		◇課題解決のための方策 星川駅、和田町駅周辺に河川の水位及び雨量を知らせるための防災用屋外スピーカーを設置し、近隣住民の迅速な避難行動につなげます。 【システム概要】 直近の上流基準水位観測所である「宮崎橋」の水位計及び消防司令センター、西谷消防出張所に設置されている雨量計を用い、浸水の恐れが生じた場合、地域住民のみなさんが避難等の安全対策がいち早く図れるよう、スピーカーからサイレンや音声で危険をお知らせするものです。
		提案内容・概算額等 設置要望2か所のうち、地域住民から要望の高い、和田町駅周辺への設置を優先します。 スピーカー設置・システム再構築など設置工事費 ■■■千円 (水位計、雨量計を新規で設置した場合 ■■■千円)
		参考：区執行体制上の課題 局事業名
所管局課・担当者	総務局危機管理室情報技術課平田係長	

◆局回答内容

総務局		情報技術課	
担当者名	平田	TEL	671-4141

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 河川流域に設置する防災用屋外スピーカーは、過去の浸水被害の発生状況等から候補地を選定し、緊急性の高い地域（瀬谷区境川流域）に整備しています。 今後の整備箇所については、洪水浸水想定区域の見直しの状況や危険性など、全市的な整備優先度を勘案しながら、検討していきます。	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

保土ヶ谷区		区政推進課	
担当者名	足立	TEL	334-6227
共通区			

所管局名	医療局病院経営本部
------	-----------

継続年数	2年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
13	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	市民病院跡地を利用した地域住民など市民が集える場の整備について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	市民病院跡地は野球場を整備することを前提に公園となることが都市計画決定されていますが、現病院敷地から既存の三ツ沢公園内レストハウスまでは距離が遠く、野球場利用者の利便性について懸念されます。また、市民病院周辺の地域からは、地域で利用できる会議室や子育て拠点となる場所、青少年等の居場所など、幅広く市民が集える場を求める強い要望があります。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	市民病院移転後の跡地に、幅広く市民が集える場を整備して欲しい。周辺地域からも、会議室や集会所といった地域で活用できる拠点のような施設の設置を求める声があがっています。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	市民病院跡地の整備状況について情報把握に努め、市民に周知しています。	
◇課題解決のための方策		
三ツ沢公園の利用者の利便性を向上させるとともに、周辺住民が地域活動でも活用できるよう、レストハウスや幅広く市民が集える施設を整備します。		
提案内容・概算額等	今後の整備計画検討にあたり、レストハウスや集会所といった地域住民など市民が集える場を設けることを含めた検討	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	市民病院管理部新病院整備課 佐藤係長	

◆局回答内容

医療局病院経営本部		新病院整備課	
担当者名	尾熊	TEL	620-3082

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 現在の計画では、現市民病院の跡地は、新病院への移転後平成32年度以降に三ツ沢公園の代替地として、新野球場を整備することとしています。 提案内容については、31年度に実施する跡地検討調査業務において引き続き関係局と検討してまいります。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	文化観光局
------	-------

保土ケ谷区		区政推進課	
担当者名	足立	TEL	334-6227
共通区			

継続年数	2年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
14	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	区民文化センターの整備について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	保土ケ谷区では、区民企画型のコンサートやブルガリア交流ピアノコンサートが開催されるなど、文化活動が活発ですが、区内で文化振興を継続して行っていくために、既存の施設では十分でないのが現状です。区民から区民文化センターの整備を検討してほしいといった声が寄せられているほか、保土ケ谷区の芸術文化向上の一環として、オーケストラ及び合唱と一緒に発表できる広さの舞台や演劇に対応できる大きさの舞台が欲しいという要望の声も挙がっています。 区民の文化芸術活動の支援は、文化芸術創造都市を目指す横浜の魅力・活力の創出のため、非常に重要なものです。市内全域で様々な芸術活動を積極的に支援していくため、保土ケ谷区内においても、区民文化センターの整備が求められています。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	保土ケ谷区内で活動できる施設が十分になく、区内に区民文化センターの整備を検討してほしいといった声が挙がっています。 既存の岩間市民プラザや公会堂では、オーケストラ団体の活動や演劇には十分な舞台スペースがないが、これらに対応できる広さの舞台が欲しいという要望が出ています。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
過去に区が実施した調査においても、「地域の人が多目的に利用できる機能」の整備を求める地域のニーズを把握しています。また、整備場所について検討を続けている中で、民間所有の建物などの活用についても調査中です。		
◇課題解決のための方策		
保土ケ谷区内に区民文化センターを整備するための検討		
提案内容・概算額等	保土ケ谷区内に区民文化センターを整備するための検討費用	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	文化観光局文化振興課 山下係長、頼政係長	

◆局回答内容

文化観光局		文化振興課	
担当者名	山下、新井	TEL	671-3714

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	区民文化センター未整備区については、再開発等のまちづくりの機会にあわせて、区内にある文化施設や公会堂等の公共施設の機能を踏まえ、区の特性に合わせて必要な機能を整備することとしています。	
対応する場合の課題	◇対応する場合の課題	
	調書で示されている区民文化センターに係るニーズにつきましては、現時点では整備場所等が定まっていないことから、関係局等との調整が必要です。	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局、道路局、健康福祉局	保土ヶ谷区		区政推進課	
		担当者名	廣澤(区政) 中尾(土木)	TEL	334-6227
共通区					
		継続年数	4年	添付資料	
番号	提案種別	項目			
15	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>	保土ヶ谷駅東口のまちづくり推進とバリアフリー化について		
	制度関連	<input type="checkbox"/>			
<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 保土ヶ谷駅は、区内で最も乗降客数が多い「保土ヶ谷区の玄関口」であるが、国道1号によって分断されていることや、保土ヶ谷県税事務所跡地が活用されていないなど、駅前空間の連続性が低く、周辺のぎわいが不足している。 保土ヶ谷駅は高架駅舎のため、改札口から駅前広場まで上下の移動が必要だが、常時利用できるエレベーターが設置されていないなど、東口駅前広場のバリアフリー化が図られていない。 <p>【平成30年度の実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保土ヶ谷駅東口まちづくり検討 保土ヶ谷県税事務所跡地を含めた東口駅前まちづくりの考え方整理(都市整備局企画課) 保土ヶ谷県税事務所跡地の利活用検討 保土ヶ谷県税事務所跡地の利活用に係る方針整理、活用に向けた諸手続き(都市整備局企画課) 保土ヶ谷区バリアフリー基本構想の策定作業 保土ヶ谷・天王町・星川駅周辺のバリアフリー基本構想策定に向けた作業(道路局企画課・保土ヶ谷区政推進課) 保土ヶ谷駅東口駅前広場改良検討 東口駅前広場の緑地を含めた全面改良の検討、バリアフリー計画の検討(道路局施設課・保土ヶ谷土木事務所) <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p><input type="checkbox"/>1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/>2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/>3 地区担当制 <input type="checkbox"/>4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/>5 区民アンケート <input type="checkbox"/>6 区民要望 <input type="checkbox"/>7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/>8 その他()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 保土ヶ谷県税事務所跡地の利活用 地域ケアプラザ(未整備地区)、保育所(整備が望ましい地区)の整備 保土ヶ谷駅東口駅前広場のバリアフリー化 <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保土ヶ谷県税事務所跡地の利活用検討(既存建物の耐震診断調査) 保土ヶ谷駅東口駅前広場改良検討(東口駅前広場の緑地を含めた全面改良の検討、バリアフリー計画の検討) <p>◇課題解決のための方策</p> <p>平成30年度の実施内容を踏まえ、「保土ヶ谷区の玄関口として、誰もが訪れやすく、活気あるまち」を目指して、次の対応を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 保土ヶ谷駅東口まちづくりの推進 保土ヶ谷駅東口駅前の利便性向上や活性化が図れるよう、保土ヶ谷区バリアフリー基本構想を踏まえた将来的なバリアフリー対策や保土ヶ谷県税事務所跡地も含めたまちづくり検討の継続実施 保土ヶ谷駅東口のまちづくりを踏まえた県税事務所跡地の有効利用 平成29、30年度の検討結果に基づいて事業化、地域ケアプラザなどの施設導入の検討 保土ヶ谷区バリアフリー基本構想を踏まえた保土ヶ谷駅東口駅前広場の改良、エレベーター設置 安全・快適に利用できるよう、駅前広場の改良に向けた実施設計 将来を見据えた位置にエレベーターを設置するための実施設計 					
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> 保土ヶ谷県税事務所跡地の利活用事業費 地域ケアプラザ整備に向けた鑑定評価費等 保土ヶ谷駅東口駅前広場改修設計費 エレベーター設計費 				
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応				
局事業名	都市づくり総合調整費、道路特別整備費、地域ケアプラザ整備費				
所管局課・担当者	都市整備局企画課 中尾係長 道路局施設課 飯沼係長 健康福祉局地域支援課 岩瀬係長				

◆局回答内容

		都市整備局		企画課	
担当者名	中尾	TEL	671-3749		
対応の有無	対応する	既存の事業で対応する			
対応する場合	◇対応の内容				
	保土ヶ谷県税事務所の本格活用に向けて、公募等の準備を進めていきます。				
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方				
	◇対応する場合の課題				

◆局回答内容

		道路局		施設課	
担当者名	飯沼	TEL	671-2731		
対応の有無	対応する	既存の事業で対応する			
対応する場合	◇対応の内容				
	設計費(千円)を予算計上しました。				
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方				
	◇対応する場合の課題				

◆局回答内容

		健康福祉局		地域支援課	
担当者名	岩瀬	TEL	671-4047		
対応の有無	対応する	既存の事業で対応する			
対応する場合	◇対応の内容				
	旧保土ヶ谷県税事務所跡地の活用を前提とした地域ケアプラザの導入について、都市整備局と連携し、さらに具体的な検討を進めます。				
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方				
	◇対応する場合の課題				

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

保土ケ谷区		区政推進課	
担当者名	廣澤・土方	TEL	334-6227
共通区			

継続年数	6年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
16	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	保土ケ谷宿を未来につなげるみちづくり事業
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 旧東海道はテレビ番組等に取り上げられる機会が多く、健康志向等の高まりから歩行者の増加が見込まれています。旧東海道保土ケ谷宿の歴史を貴重な資源ととらえ、にぎわいづくりにつなげるための施策を進める必要があります。 また、ウォーキングをするのにあたり、旧東海道へのアクセス動線がわかりにくいこと、連続性が保たれていないこと、歩道がないなど安全性が保たれていない場所があること、周辺に情報の入手や休憩する場所がないなどの課題があります。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 ■2 市民からの提案等 □3 地区担当制 □4 地域懇談会等 □5 区民アンケート ■6 区民要望 ■7 関係団体からの要望 □8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 ・「旧東海道『保土ケ谷宿』を未来へつなげるまち・みち再生計画」の早期実現 ・歩行者のための「道の駅」的な施設の早期整備
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 平成26年度に道路局・都市整備局と連携して「旧東海道『保土ケ谷宿』を未来へつなげるまち・みち再生基本構想」を、27年度に「再生計画」を策定しました。
		◇課題解決のための方策 「旧東海道『保土ケ谷宿』を未来へつなげるまち・みち再生計画」の整備着手 ・天王駅周辺：高架下から駅前空間、公園までの一体的な空間づくり ・保土ケ谷駅西口商店街：安全な交通空間づくり、電線地中化の検討 ・保土ケ谷小学校跡地：交流を広げる拠点機能づくり ・辻等：舗装やサイン等により、歴史的経緯を連想させる空間づくり ・国道1号等：歩行者への安全に配慮した景観づくり、電線地中化の検討
		提案内容・概算額等 設計に関する委託費、整備に関する工事費
		参考：区執行体制上の課題 現行の体制で対応
		局事業名 保土ケ谷宿を未来につなげるみちづくり事業
所管局課・担当者 道路局企画課 故島係長、道路局建設課 関野係長		

◆局回答内容

道路局		企画課建設課	
担当者名	故島・原(企画課) 関野(建設課)	TEL	671-2777(企画) 671-3542(建設)

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 ・旧東海道保土ケ谷宿周辺のまちづくり・みちづくりについて、再生計画に基づく施設整備を実現するために、重点地区について検討・設計に関する委託費を計上します。(企画課) ・「東海道の歴史的資源を活かしたみちづくりの整備計画(案)」(H26.3策定)を踏まえ、国道1号保土ケ谷橋工区の事業を進めていきます。(建設課)	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

Table with 2 columns: 所管局名 (Municipal Agency Name) and 都市整備局、道路局 (City Planning and Road Bureau).

Table with 4 columns: 保土ヶ谷区 (Hosotogaya Ward), 区政推進課 (Ward Administration Promotion Section), 担当者名 (Staff Name), 廣澤・土方 (Hirozawa/Hirohata), TEL, 334-6227, 共通区 (Common Ward).

Table with 4 columns: 継続年数 (Continuation Period), 7年以上 (7 years or more), 添付資料 (Attachments), (blank).

Main proposal form table with columns: 番号 (No.), 提案種別 (Proposal Type), 項目 (Item), 内容 (Content). Includes sections for '地域のニーズと解決策' (Local Needs and Solutions) and '提案内容・概算額等' (Proposal Content and Estimated Amount).

◆局回答内容 (Bureau Response Content)

Table with 4 columns: 都市整備局 (City Planning and Road Bureau), 都市交通課 (City Transportation Section), 担当者名 (Staff Name), 野上、銀木 (Nonaka/Ginoki), TEL, 671-2722.

Table with 3 columns: 対応の有無 (Response Status), 対応する (Responding), 既存の事業で対応する (Responding with Existing Projects). Includes '対応する場合' (When Responding) and '対応しない場合' (When Not Responding) sections.

◆局回答内容 (Bureau Response Content)

Table with 4 columns: 道路局 (Road Bureau), 企画課 (Planning Section), 担当者名 (Staff Name), 寺島、郷原 (Terajima/Kohara), TEL, 671-3800.

Table with 3 columns: 対応の有無 (Response Status), 対応しない (Not Responding), 予算化見送り (Budget Review Pending). Includes '対応する場合' (When Responding) and '対応しない場合' (When Not Responding) sections.

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名 建築局、市民局

保土ヶ谷区 地域振興課
担当者名 榊嶋、田村 TEL 334-6305
共通区

継続年数 2年 添付資料

Main survey table with columns: 番号, 提案種別, 項目. Includes details for '桜ヶ丘コミュニティハウスの駐車場整備について' and '地域のニーズと解決策'.

局回答内容

Building Department and City Office contact info: 担当者名 新川、佐和 TEL 671-2929

Response table for Building Dept with columns: 対応の有無, 対応しない, 制度化見送り. Includes '対応しない場合' details.

局回答内容

Citizen Office and Regional Facility Dept contact info: 担当者名 安見 TEL 671-2328

Response table for Citizen Office with columns: 対応の有無, 対応しない, 予算化見送り. Includes '対応しない場合' details.

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局
------	-----

保土ヶ谷区		地域振興課	
担当者名	榊嶋、田村	TEL	334-6305
共通区	神奈川区、西区、南区、金沢区、港北区、泉区		

継続年数	3年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
20	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	地区センター体育室への空調設備導入について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>・市内の各地区センターでは、地域住民が、スポーツ、レクリエーション、クラブ活動を通じて相互の交流を図っていますが、一部の地区センター体育室には空調設備が設置されていないことから、夏場には室温が高くなり、熱中症のリスクを抱えながらの利用となっています。</p> <p>・区役所から施設に対して、「体育室利用者への熱中症についての注意喚起を行っていただくと共に、状況によって自主事業開催の要否も検討するよう」要請しています。</p> <p>・各地区センターは、横浜市防災計画に基づく帰宅困難者一時滞在施設等として活用しますが、夏季・冬季には、避難施設として快適に利用できる環境ではありません。</p> <p>・利用者、関係団体からは、空調設備の整備について、繰り返し要望があります。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>地区センターの体育室に空調設備を設置して欲しい。</p> <p>現在、地区センターの体育室では、夏場の室温上昇により利用中に度々競技を中断せざるを得ない。利用中の体調不良が懸念され、梅雨時から秋まで、体育室の利用をためらってしまう。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<p>施設との協議により、次のとおり対応していますが、根本的な解決に至っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育室の扉・窓の開放、通風の工夫 ・温度計の設置 ・水分補給及び適度な休憩の注意喚起 		
◇課題解決のための方策		
<p>「地区センター体育室への空調設備整備のための設計」</p> <p>各地区センターの体育室に空調設備を設置し、安心・安全な利用環境を整備するため、設計を行います。施工については、平成32年度以降、実施します。</p> <p>身近な施設で安心してスポーツができる環境を整備することで、横浜市スポーツ推進計画「基本目標2：地域スポーツの振興」「目標3：高齢者・障害者スポーツの推進」の達成につなげます。</p>		
提案内容・概算額等	地区センター体育室への空調設備整備に係る設計費： █████ 千円 <<内訳(TC=地区センター)>> 初音が丘TC(保土ヶ谷区)、神大寺TC、神奈川TC(神奈川区)、西TC(西区)南TC(南区)、金沢TC(金沢区)、綱島TC(港北区)、中川TC、立場TC(泉区)	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	市民局地域施設課 土田係長、安見	

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	安見	TEL	671-2328

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>平成30年度に、体育室の空調設置に向けて実施設計を行っているほどがや地区センターについて工事費を計上します。</p> <p>今後、空調未設置施設についても、財政状況等を考慮しながら、順次空調の設置を進めていきます。</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局
------	-------

保土ヶ谷区		保土ヶ谷土木事務所・福祉保健課	
担当者名	(土木) 黒川 (福保) 長澤	TEL	(土木) 331-4445 (福保) 334-6344
共通区			

継続年数	3年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
21	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	保土ヶ谷三丁目もまち広場への健康器具の設置について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<ul style="list-style-type: none"> 当広場は、現在地域住民のラジオ体操の場となっており、健康遊具の設置により地域の健康づくりの拠点として利用拡大が見込めます。 当該箇所は、今井川改修工事時に整備された地下調節池の沈砂池を上部利用した広場であり、神奈川県管理の国有地です。 同広場は河川区域であるため遊具設置にも制限がかかっています。 同広場にはベンチのみ設置されています。 環境創造局が所管とする公園とすれば遊具類の設置が可能です。 	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>当地域(保土ヶ谷中地区)では、介護予防のための健康づくり教室などを、地域住民が主体となって取り組んでいます。この広場では、毎日ラジオ体操をする方も見受けられますが、現状ではベンチしか設置されていない状況であり、健康器具の設置に対する期待が寄せられています。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 当土木事務所では、河川管理費で草刈り等の対応を行っています。 道路局は、健康器具の設置は河川施設ではないので行いません。 	
◇課題解決のための方策		
同広場を公園として環境創造局に移管し、健康器具を整備します。		
提案内容・概算額等	健康遊具の設置にあたり、代表的な「ぶら下がり」「背伸ばしベンチ」「腹筋ベンチ」「腰ひねり」の4種の導入を図ります。 環境創造局：200万円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	環境創造局緑地保全推進課 小室係長	

◆局回答内容

環境創造局		緑地保全推進課	
担当者名	小室	TEL	671-2641

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	<p>当該河川区域内の広場については、市民が恒久的に安全かつ便利に公園利用が図れるよう、出入口2方向が道路法上の道路に接する必要があると考えます。当該地は要件を満たす道路に1方向のみ接しているため、2方向で接するようにしてください。</p>	
対応する場合の課題	◇対応する場合の課題	